郵便物認可　中部経済新聞　2018年（平成30年）8月29日　水曜日　（日刊）

総合　2面
春技術者600人採用へ
和田製作所が派遣業強化

愛知・知多　4面
作用フィルム加工の受注強化
三水商工が専用ラインを新設

きょうの紙面

大樹園が盆栽の市場拡大へ新たな取り組み＝5面

岐阜・三重　6面
健康に配慮したあめ商品化
松屋製菓が初の機能性商品

医療・介護　7面
重症心不全患者向け治療事業化へ
iCorNet研究所

中部経済新聞

2018年（平成30年）
8月29日
水曜日

発行所
中部経済新聞社
〒450―8561
名古屋市中村区
名駅4―4―10
編集局　052(561)5212
読者開拓局　052(561)5216
広告部　052(561)5213
事業部　052(561)5675
総務部　052(561)5215
東京支社　03(3572)3601

©中部経済新聞社2018

ホームページ
www.chukei-news.co.jp

糸口をつかめ　業務改善の手法　〔1〕

荷主巻き込む現場力発揮

東山物流（とうざん）

人手不足が企業経営の足かせになりつつある。中堅・中小企業にとっては人材を確保するとともに、現状の業務を改善し、生産性を向上させることが大きな課題だ。人事労務問題を専門とする経済団体、愛知県経営者協会（会長＝加藤宣明デンソー相談役）は、独自調査で会員企業の取り組みをまとめた。業務改善のヒントとなる好事例の現場を訪ねた。

昨年から新卒女性の採用を始めた

物流は経済活動の血液。スムーズに流れてこそ経済活動が活性化する。ただ、その担い手である運送業者は慢性的な人手不足に陥っているほか、従来の慣行となっている荷役などの付帯業務が大きな負担となっている。

自動車部品の運送を手掛ける東山物流（本社東海市南柴田町）は、荷主など関係者を巻き込んだ地道な取り組みを重ねている。

半年かけて実施

運送業では、荷主指定の到着時間に遅れないように近くで待機する「手待ち時間」が発生しがち。手待ち時間は運賃に加算されず、運送業者の負担。運転手の長時間労働の一因にもなっている。

同社は車両に搭載しているデジタルタコグラフ（デジタコ、運行記録計）を活用した。手待ち時間の長い荷主を割り出し、データを基に荷主に改善を提案。1年ほど前から取り組み、最長1日4時間の手待ちが発生する時もあったが、配車の見直しや到着時間の柔軟化などで大幅な削減につなげた。

ただ、「一つの改善を実現するのに半年は必要。地道な取り組みをやり続けることが大切」。渕上重敏社長は改善の難しさも指摘する。荷主もサプライチェーン（供給網）でつながっており、1カ所手を加えると前後に影響を与えることになるからだ。

カイゼンのDNA

現場の運転手からの改善提案もある。同社を傘下に持つ親会社の東山（本社名古屋市緑区）は35年前からTQC活動に力を入れている。グループ全体で年2回発表会を開催しており、7月に行われた71回目の発表会で、東山物流のチームが最優秀賞を受賞した。

取り組んだ課題は、顧客のレイアウト変更に伴い荷物の積み下ろし場所が1階から2階に変わってしまったこと。荷役用エレベーターで2階に上げる必要があり、運転手による現場の作業が大幅に増えた。

運転手は、顧客の担当者や同じ時間帯に納入する同業者と現場で調整し、エレベーターの操作など作業を分担。結果として作業時間の短縮につなげたことが評価された。

吉田賢吾取締役運輸部部長は「日頃のコミュニケーションで顧客や同業者との信頼関係があるからこそ実現できた」と自ら改善に取り組む現場力に期待を寄せている。

新たな戦力を獲得

ただ、慢性的な人手不足は一向に変わっていない。そこで、新たな戦力として新卒の女性に目を向け、昨年4月に初めてドライバー職で1人採用した。高卒者は3年間大型免許を取得できないが、当面フォークリフトの構内運搬などを行う。

渕上社長は「企業文化を理解してもらいながら、一から育成していきたい。女性が働きやすい職場環境にも改善していく」と話す。今年4月に新卒女性をさらに1人採用。来年以降も継続していく考えだ。

（毎週水曜日に掲載）

デジタコ活用〝手待ち〟削減

トヨタ系大手プレス部品メーカーの豊田鉄工（本社豊田市）の社長に岩瀬次郎氏（60）が就任した。同社は近年、自動車用プレス部品で軽量化、高強度化要求に高い次元で応えるため、鋼材を加熱した上で成形する熱間プレス設備などの導入を進めてきた。「これをしっかりと実らせ、収益につなげたい」と話す岩瀬社の対応として従来より1ランク、2ランク能力を上げたプレス設備を世界中に導入した。まいてもらった種をしっかりと実らせ、収益に貢献させたい」

―高水準の設備投資が続いている。グループ全体で年2回発表会を開催しており、7月に行われた71回目の発表会で、東山物流のチームが最優秀賞を受賞した。

取り組んだ課題は、顧客のレイアウト変更に伴い荷物の積み下ろし場所が1階から2階に変わってしまったこと。荷役用エレベーターで2階に上げる必要があり、運転手による現場の作業が大幅に増えた。

運転手は、顧客の担当者や同じ時間帯に納入する同業者と現場で調整し、エレベーターの操作など作業を分担。結果として作業時間の短縮につなげたことが評価された。

米メキシコNAFTA合意

車部品調達率75%に上げ　カナダ焦点、日本影響も

【ワシントン共同】トランプ米政権は27日、カナダ、メキシコとの北米自由貿易協定（NAFTA）再交渉を巡り、メキシコとの2国間協議で基本合意したと発表した。米通商代表部（USTR）によると、焦点だった自動車の関税をゼロにする基準について、域内からの部品調達比率を現行の62・5%から75%に引き上げる。域内での生産を促すのが狙いだ。米政府高官は週内にカナダとの妥結を目指す考えを示した。3カ国による新たな合意ができるかどうかカナダの判断に焦点が移った。

米とメキシコの2国間の合意がそのまま3カ国の協定に反映されれば、現地で生産する日本の自動車メーカーは域外からの部品を使いにくくなり、経営戦略に大きな影響を与える可能性がある。

トランプ大統領は27日、「貿易と米国にとって重要な日になった」と成果を強調。協定の名称を「NAFTA」から「米メキシコ貿易協定」に変更したいとの考えを示した。カナダを外してメキシコとの2国間協定にする可能性にも言及し、残されたカナダとの協議で譲歩を迫った。

米メキシコ間で協議の焦点となったのは「原産地規則」と呼ばれる域内からの部品の調達基準だ。現行はカナダを含む3カ国を対象とし、乗用車は62・5%以上なら関税がゼロになる。

また新たに「賃金基準」を設定し、車の部品の40～45%は時給16ドル（約1800円）以上の工場で造るよう求める。低賃金のメキシコで生産する利点を生かせなくなる可能性がある。

◆東京市場（28日）

円相場（午後5時・銀行間）	対ドル	111.14-111.15円	(0.01円高)
	対ユーロ	129.87-129.91円	(0.93円安)
株式（終値）	日経平均	2万2813.47円	(13.83円高)
	TOPIX	1731.63	(2.68ポイント高)

孤立化回避へ子ども食堂展開

NEWSピックアップ

一般社団法人あうずっと（本社名古屋市中川区）は、子ども食堂などのイベント事業に乗り出す。愛知県から「子ども食堂」のモデル事業委託先として選定。介護施設の運営などを手掛けるアルバ（本社名古屋市）と連携し、共同で取り組む。子どもの孤立を防ぎ、成長を支援する。（記事は3面に）

中経手帖

先週末、高校時代の同級生とジャンをした。学生のころは毎ようにやっていたが、社会人にてからは自然消滅のようになっまっていて実に30年ぶりに卓をだ▼久しぶりにやるマージャンは〝上方〟を忘れてしまっていたこともあっローペースで進んだが、昔話や近況報尽きることなく弾んだ。話題はいろいったが健康や老後に関しては誰もが雄なった▼体だけでなく50代くらいから老化も進み急速にやる気を失い、何かうとしてもおっくうに感じたり、やるら諦めてしまうことが多くて困ると誰言うと、みな同じらしく胸をなでおろ▼年齢とともに感情や意欲をコントロする前頭葉の「前頭前野」という部分え、心が老いてしまって無気力やイラが強くなり心の柔軟性が失われてしまだという。対策としては楽しいことを